

## (1) 行政評価に係る市民アンケート

---

本計画の策定に先立ち、市民の男女平等に対する意識、家庭生活や地域活動における男女共同参画の状況、DVの状況等を把握するために、「行政評価に係る市民アンケート調査」を実施しました。

### (調査の目的)

本調査は、本市が実施した「行政評価に係る市民アンケート調査」より一部抜粋し、男女共同参画に関する市民の男女平等に対する意識や現状などを把握することにより、今後の男女共同参画行政を充実させていくための基礎資料とすることを目的としています。

### (調査の実施概要)

調査時期	令和7年4月
調査対象者	八女市在住の18歳以上の市民
調査方法	郵送による配布・回収、 インターネットによる回答
配布数	3,000件
有効回答数	781件
有効回答率	26.0%

問 26 人権・男女共同参画について

すべての市民が自分らしく暮らせるまちをつくるため、「人権施策の推進」「人権啓発の推進」「多文化共生の推進」「男女共同参画社会の実現」に取り組んでいます。

(昨年度の主な取り組み内容として)

- ①人権に関する相談支援体制の強化
- ②市の審議会などへの女性の登用を推進
- ③「人権のまちづくり市民の集い」や「スマイルフェスタ」、「人権セミナー」の開催
- ④「男女共同参画講演会」や「男女共同参画映画上映」の開催
- ⑤企業などへの人権研修講師の派遣
- ⑥男女共同参画情報誌「とうぎゃざー」の発行、広報八女への「なぜなぜ人権」掲載や市の施設などへの啓発リーフレット配置。
- ⑦「人権メッセージ」の募集

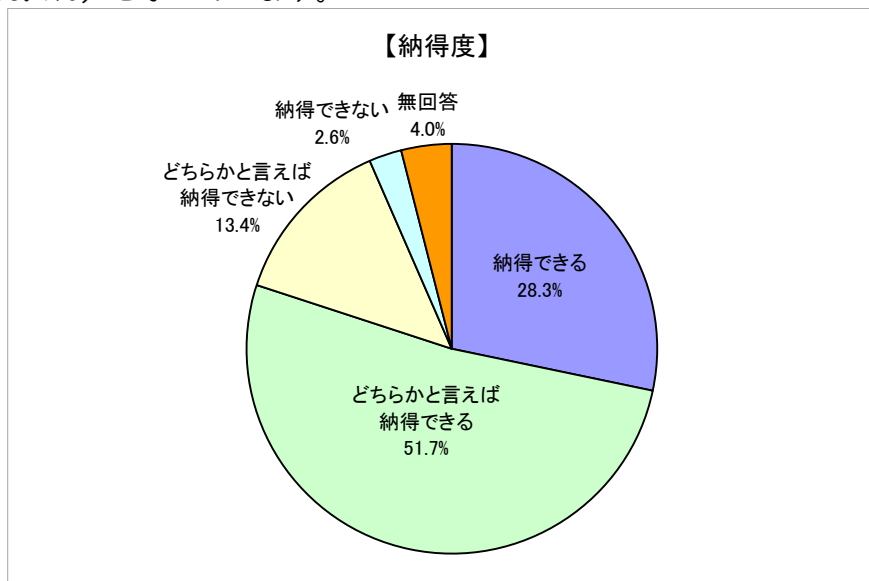
この取り組みについてお伺いします。

ア. この取り組みに対して、どのくらい納得できますか

イ. この取り組みは、どのくらい重要だと思えますか

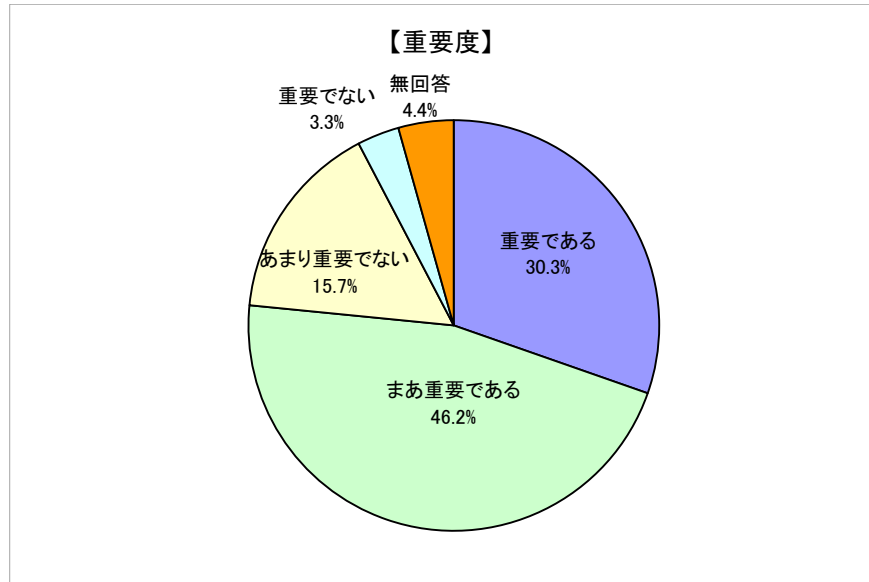
ア. 納得度

○取り組みの納得度については、これらの取り組みに納得できる割合は80.0%（「納得できる」28.3%+「どちらかと言えば納得できる」51.7%）、これらの取り組みに納得できない割合は16.0%（「納得できない」2.6%+「どちらかと言えば納得できない」13.4%）となっています。



## イ. 重要度

○取り組みの重要度については、これらの取り組みは重要と考える割合は76.5%（「重要である」30.3%+「まあ重要である」46.2%）、これらの取り組みは重要でないと考える割合は19.1%（「重要でない」3.3%+「あまり重要でない」15.7%）となっています。



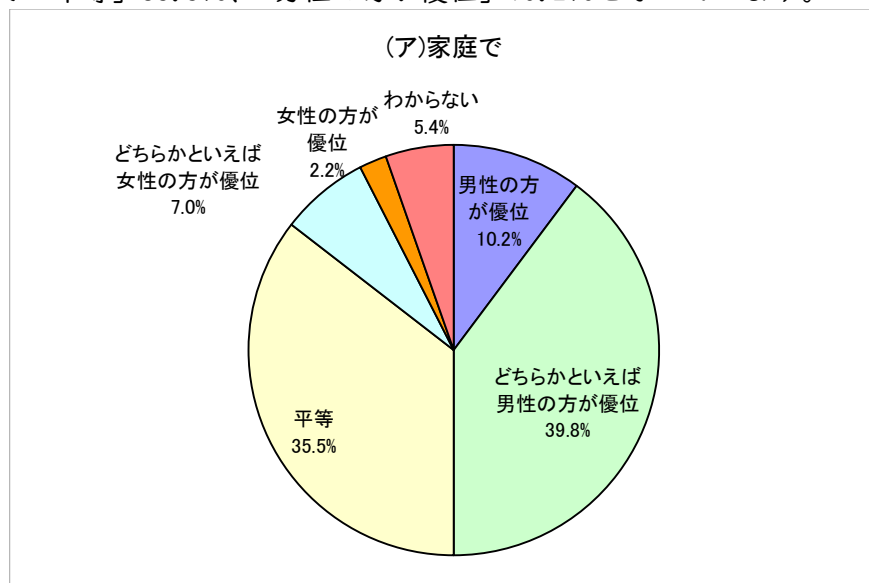
---

問37 あなたは、次にあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

---

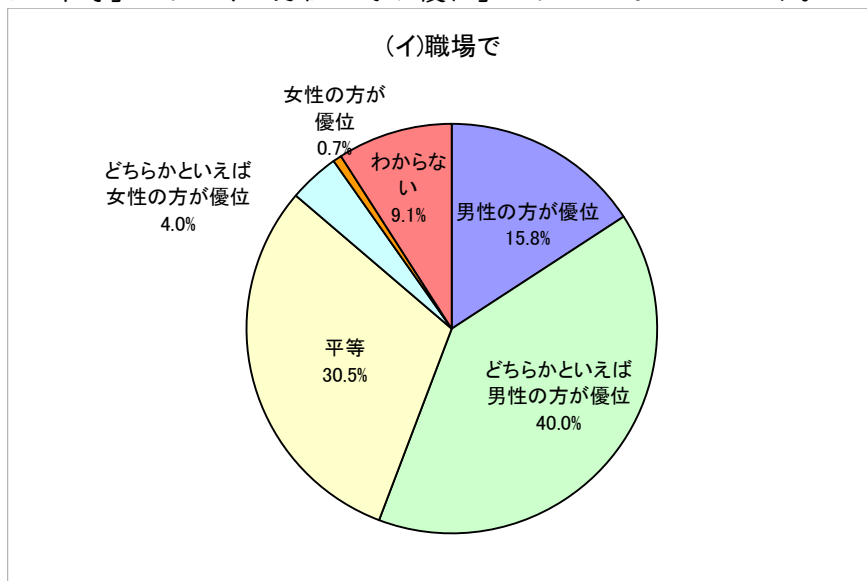
### (ア)家庭で

○家庭での男女平等については、「どちらかといえば男性優位」が39.8%と最も高く、次いで「平等」35.5%、「男性の方が優位」10.2%となっています。



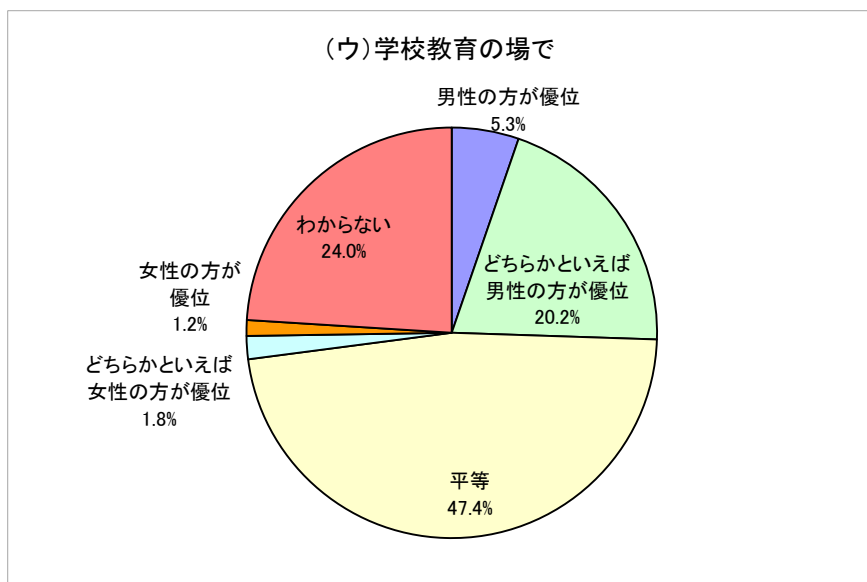
(イ)職場で

○職場での男女平等については、「どちらかといえば男性優位」が40.0%と最も高く、次いで「平等」30.5%、「男性の方が優位」15.8%となっています。



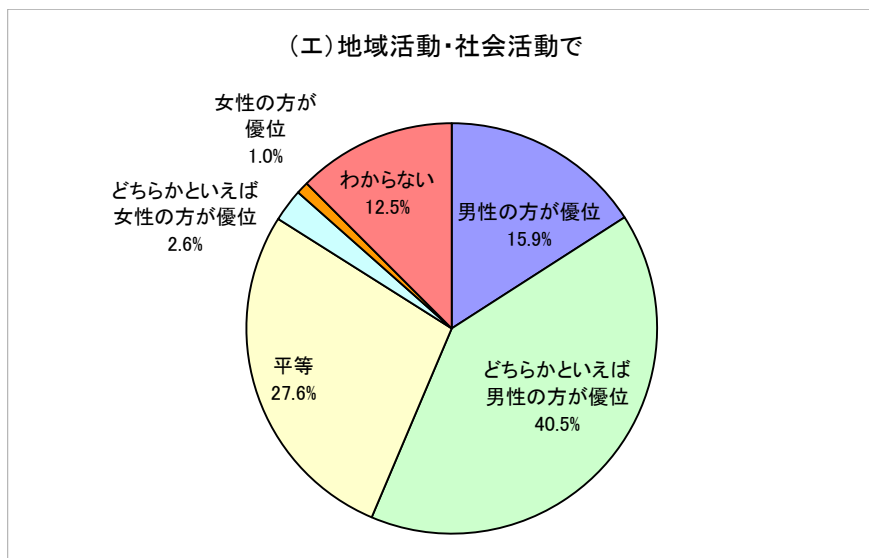
(ウ)学校教育の場で

○学校教育の場での男女平等については、「平等」が47.4%と最も高く、次いで「わからない」24.0%、「どちらかといえば男性優位」20.2%となっています。



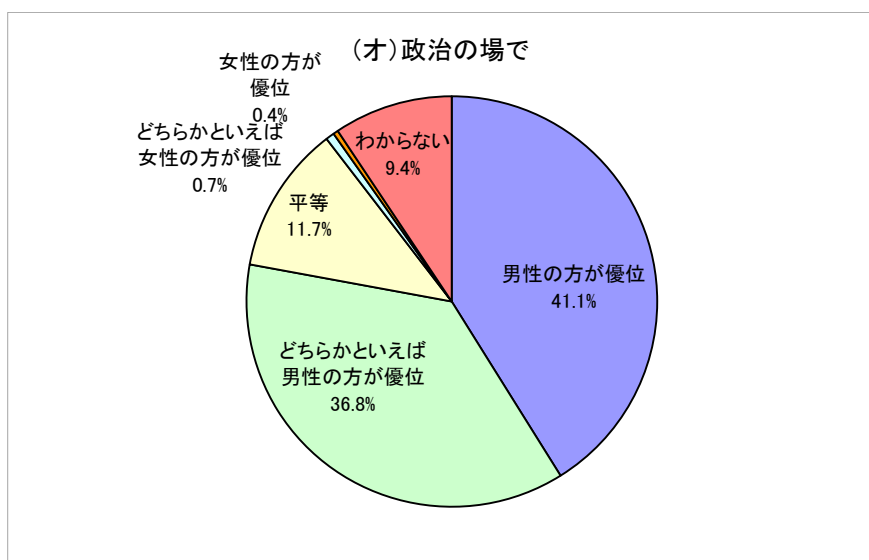
(工)地域活動・社会活動で

○地域活動・社会活動での男女平等については、「どちらかといえば男性優位」が40.5%と最も高く、次いで「平等」27.6%、「男性の方が優位」15.9%となっています。



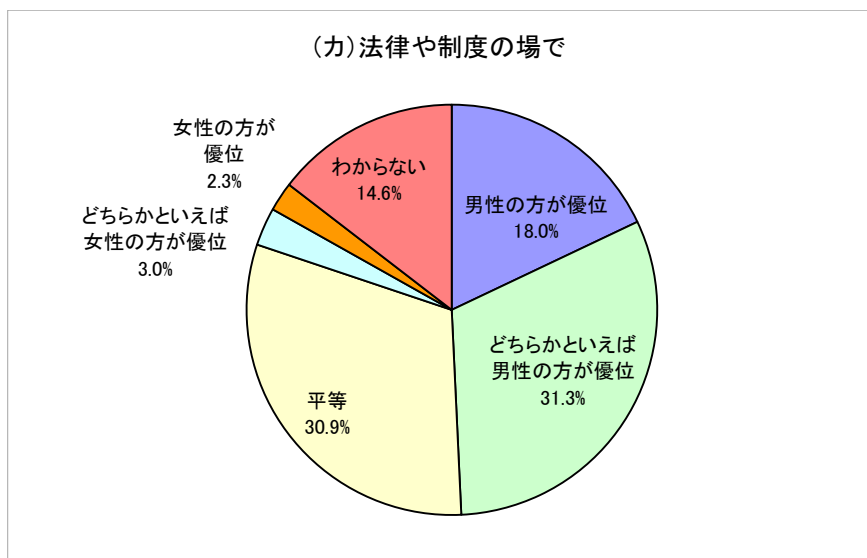
(オ)政治の場で

○政治の場での男女平等については、「男性の方が優位」が41.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性優位」36.8%、「平等」11.7%となっています。



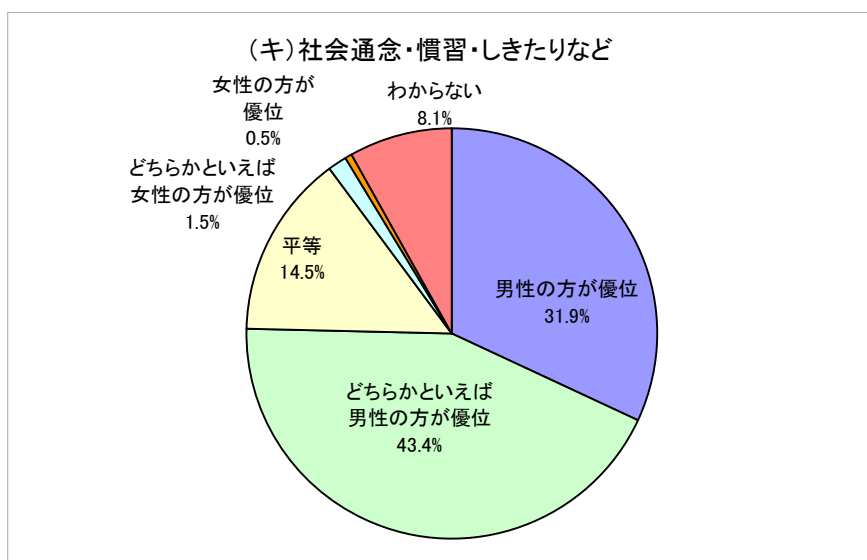
(カ)法律や制度の場で

○)法律や制度の場での男女平等については、「どちらかといえば男性優位」が31.3%と最も高く、次いで「平等」30.9%、「男性の方が優位」18.0%となっています。



(キ)社会通念・慣習・しきたりなど

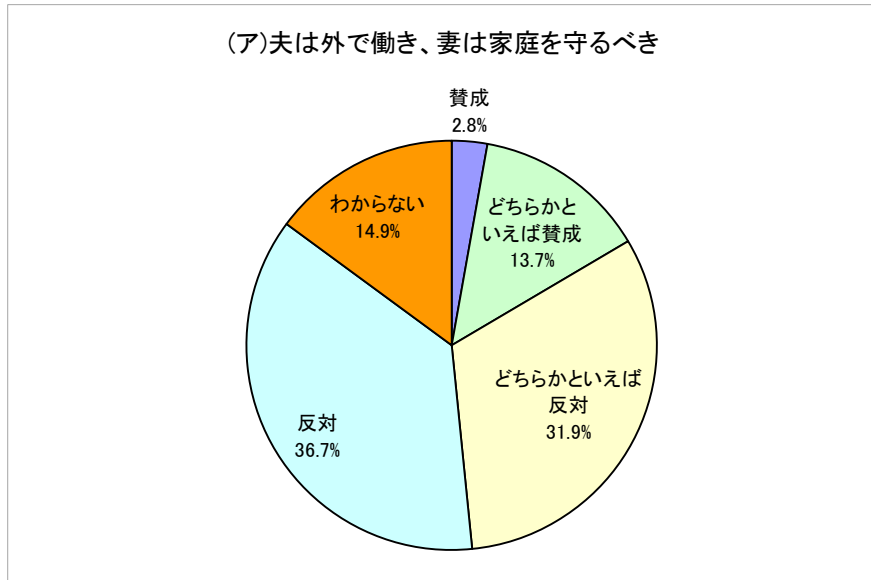
○)社会通念・慣習・しきたりなどでの男女平等については、「どちらかといえば男性優位」が43.4%と最も高く、次いで「男性の方が優位」31.9%、「平等」14.5%となっています。



問 38 次の項目について、どのような考え方をお持ちですか。

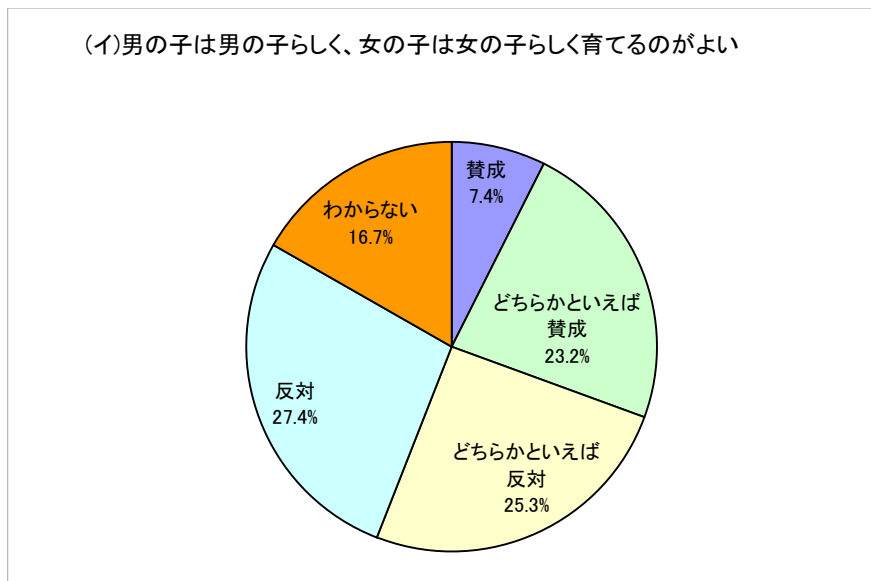
(ア)夫は外で働き、妻は家庭を守るべき

○仕事の性別による役割分担については、「反対」が36.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば反対」31.9%、「わからない」14.9%となっています。



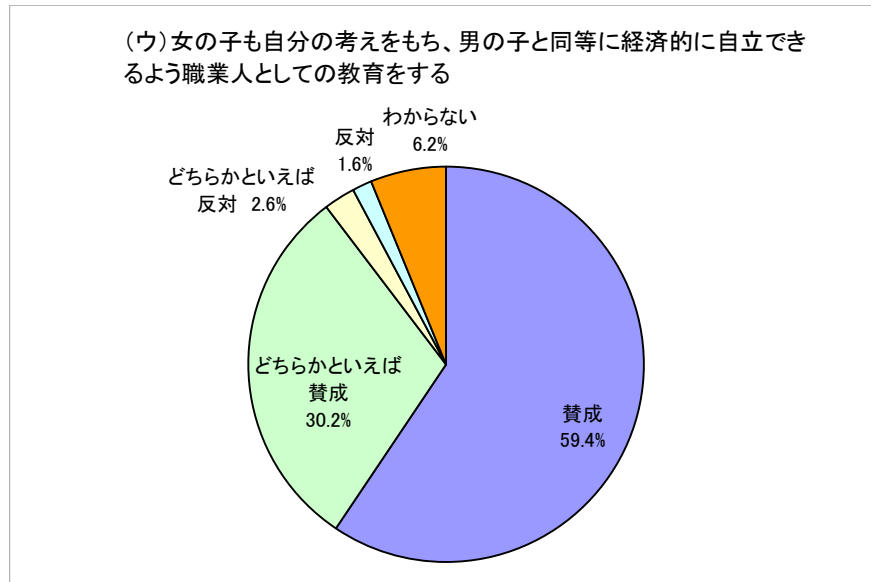
(イ)男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい

○子育てでのジェンダー・バイアスについては、「反対」が27.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば反対」25.3%、「どちらかといえば賛成」23.2%となっています。



(ウ)女の子も自分の考えをもち、男の子と同等に経済的に自立できるよう職業人としての教育をする

○性別にかかわらず経済的自立の教育の必要性については、「賛成」が59.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば賛成」30.2%、「わからない」6.2%となっています。

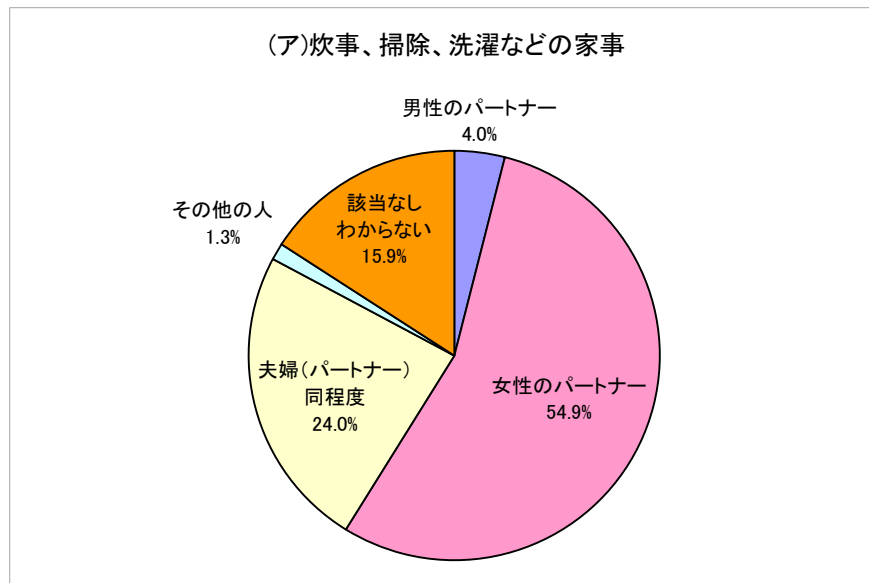


「結婚している」「結婚していないがパートナーと暮らしている」方におたずねします。

問 39 あなたの家庭では、次の役割を主に誰が担っていますか。

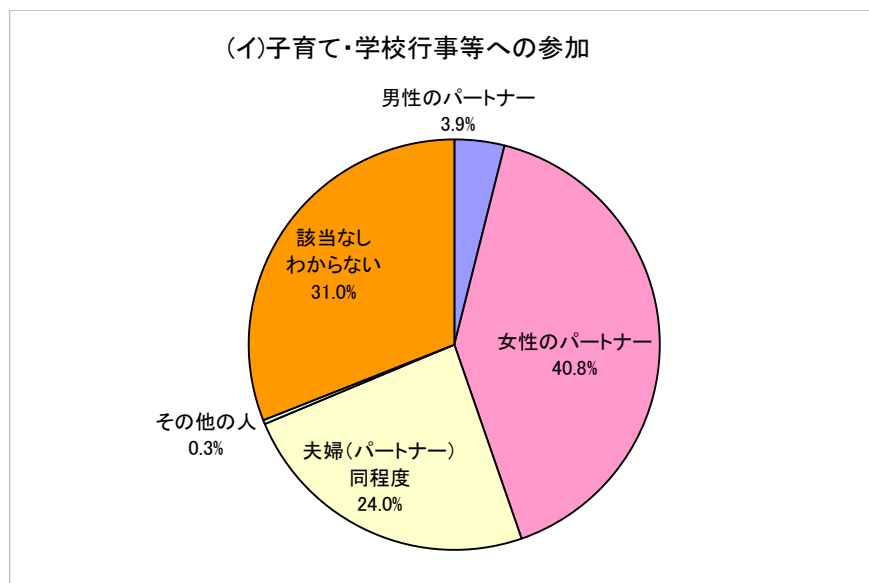
(ア)炊事、掃除、洗濯などの家事

○炊事、掃除、洗濯などの家事については、「女性のパートナー」が54.9%と最も高く、次いで「夫婦（パートナー）同程度」24.0%、「該当なし・わからない」15.9%となっています。



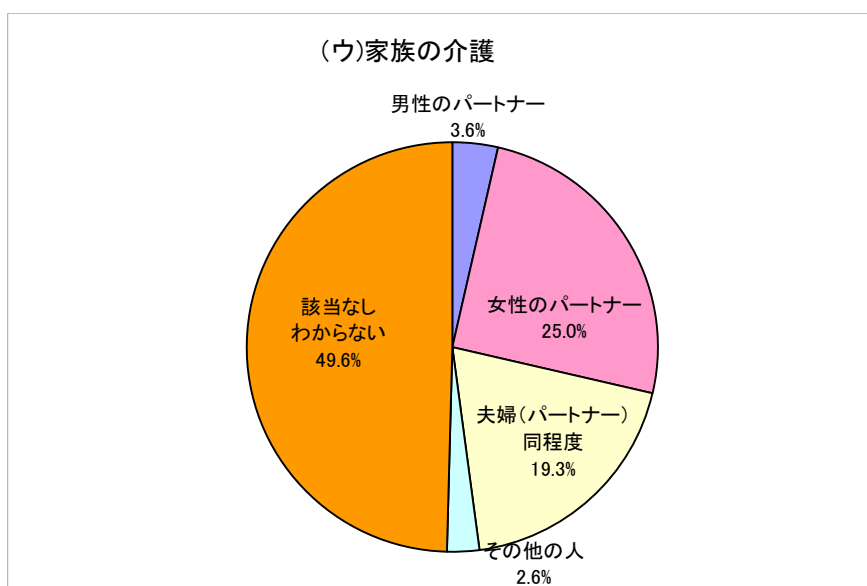
(イ)子育て・学校行事等への参加

○子育て・学校行事等への参加については、「女性のパートナー」が40.8%と最も高く、次いで「該当なし・わからない」31.0%、「夫婦（パートナー）同程度」24.0%となっています。



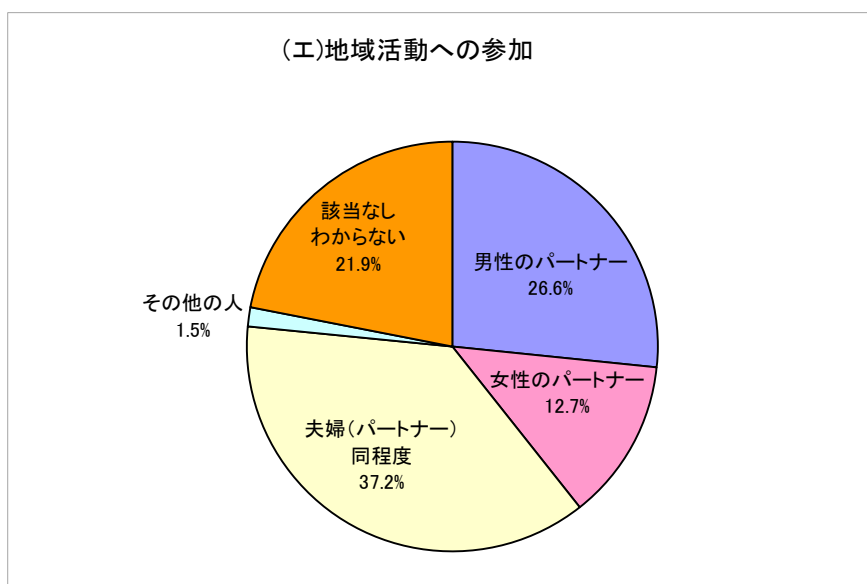
### (ウ)家族の介護

○家族の介護については、「該当なし・わからない」が49.6%と最も高く、次いで「女性のパートナー」25.0%、「夫婦（パートナー）同程度」19.3%となっています。



### (エ)地域活動への参加

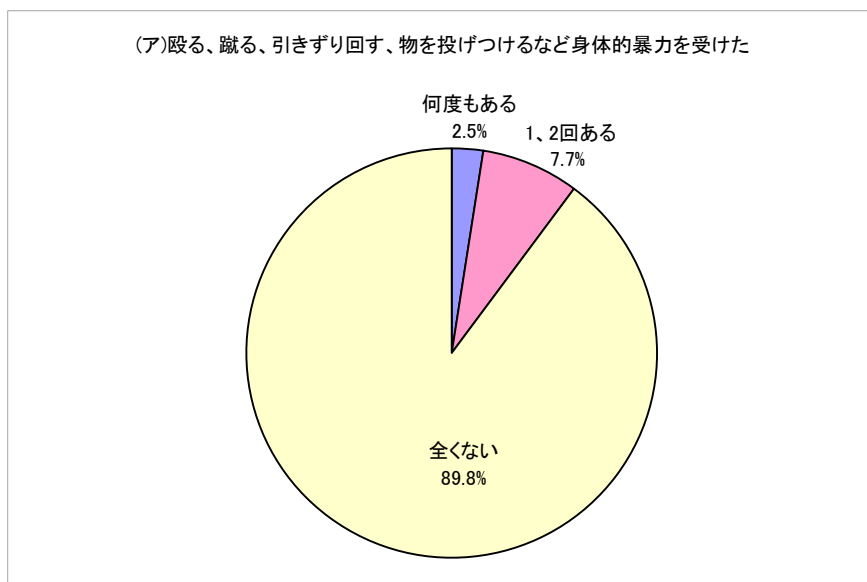
○地域活動への参加については、「夫婦（パートナー）同程度」が37.2%と最も高く、次いで「男性のパートナー」26.6%、「該当なし・わからない」21.9%となっています。



問 40 あなたは、配偶者やパートナーまたは恋人などから、次のようなことを受けた経験がありますか。

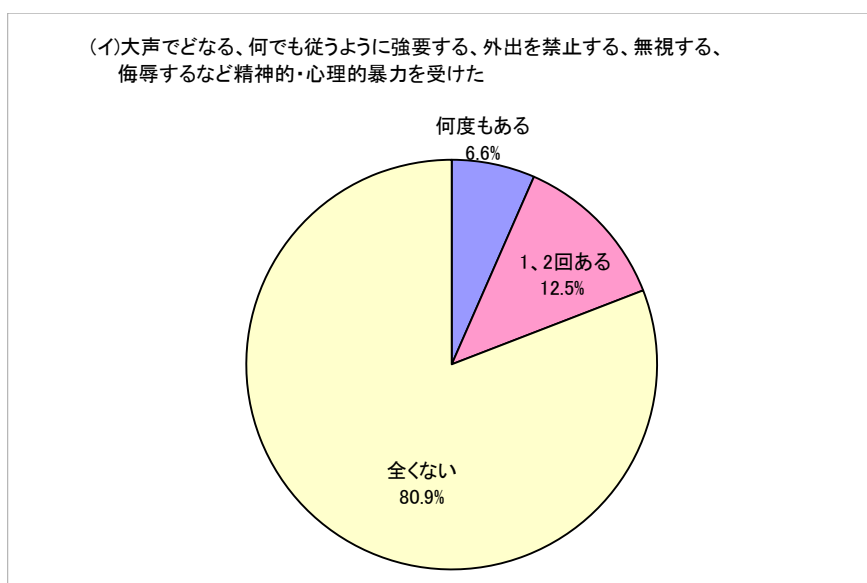
(ア)殴る、蹴る、引きずり回す、物を投げつけるなど身体的暴力を受けた

○身体的暴力については、「全くない」が89.8%と最も高く、次いで「1、2回ある」7.7%、「何度もある」2.5%となっています。



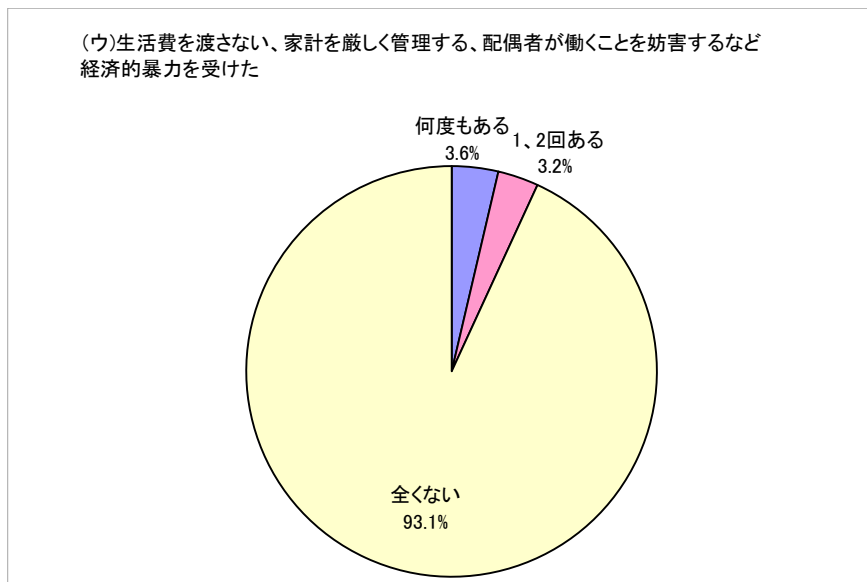
(イ)大声でどなる、何でも従うように強要する、外出を禁止する、無視する、侮辱するなど精神的・心理的暴力を受けた

○精神的・心理的暴力については、「全くない」が80.9%と最も高く、次いで「1、2回ある」12.5%、「何度もある」6.6%となっています。



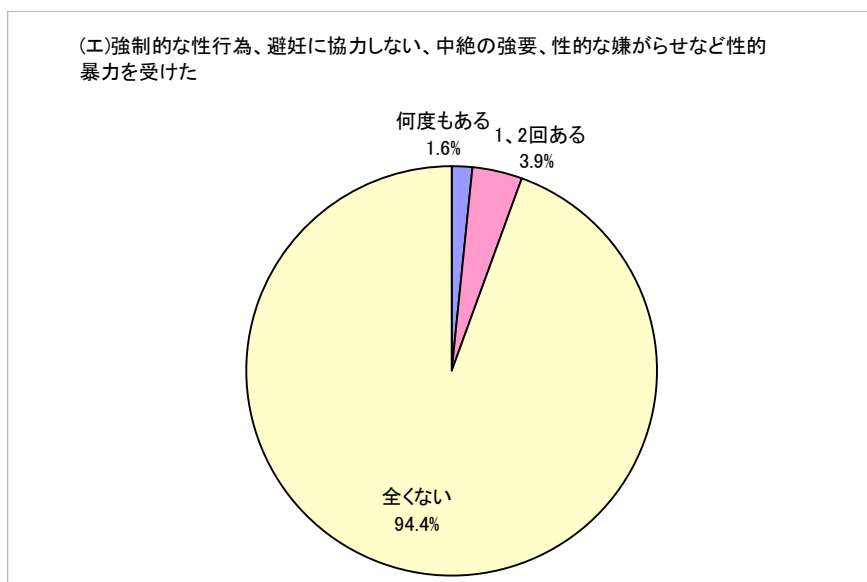
(ウ)生活費を渡さない、家計を厳しく管理する、配偶者が働くことを妨害するなど経済的暴力を受けた

○経済的暴力については、「全くない」が93.1%と最も高く、次いで「何度もある」3.6%、「1、2回ある」3.2%となっています。



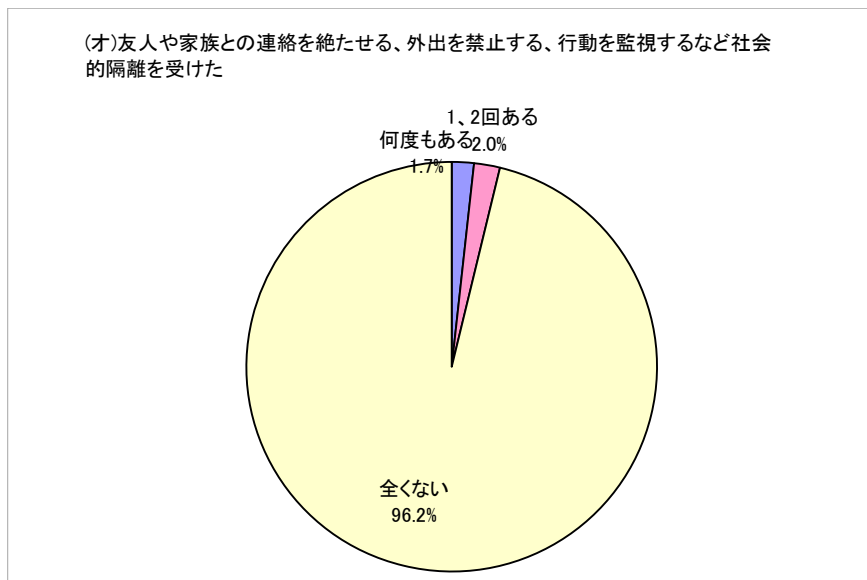
(エ)強制的な性行為、避妊に協力しない、中絶の強要、性的な嫌がらせなど性的暴力を受けた

○性的暴力については、「全くない」が94.4%と最も高く、次いで「1、2回ある」3.9%、「何度もある」1.6%となっています。



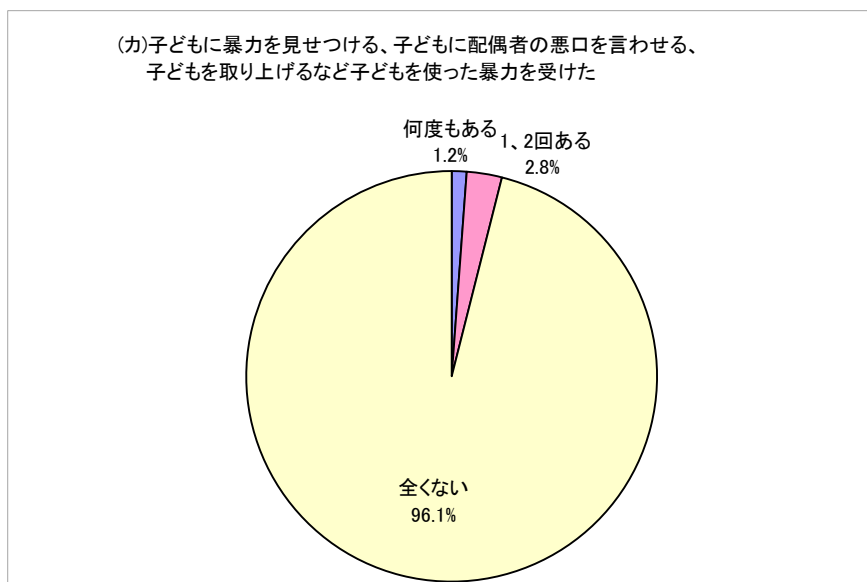
(オ)友人や家族との連絡を絶たせる、外出を禁止する、行動を監視するなど社会的隔離を受けた

○社会的隔離については、「全くない」が96.2%と最も高く、次いで「1、2回ある」2.0%、「何度もある」1.7%となっています。



(カ)子どもに暴力を見せつける、子どもに配偶者の悪口を言わせる、子どもを取り上げるなど子どもを使った暴力を受けた

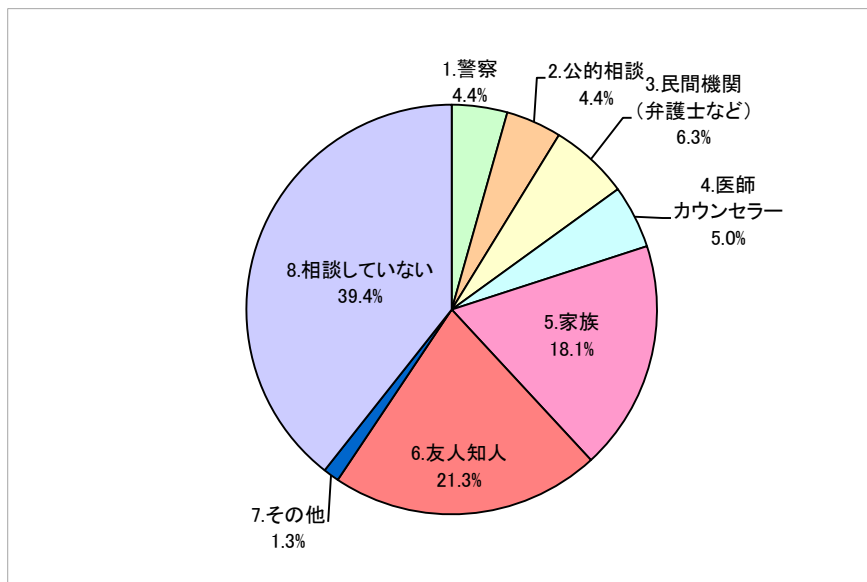
○子どもを巻き込む暴力については、「全くない」が96.1%と最も高く、次いで「1、2回ある」2.8%、「何度もある」1.2%となっています。



問 40 で「何度もある」もしくは「1、2回ある」と答えた方にお聞きします。

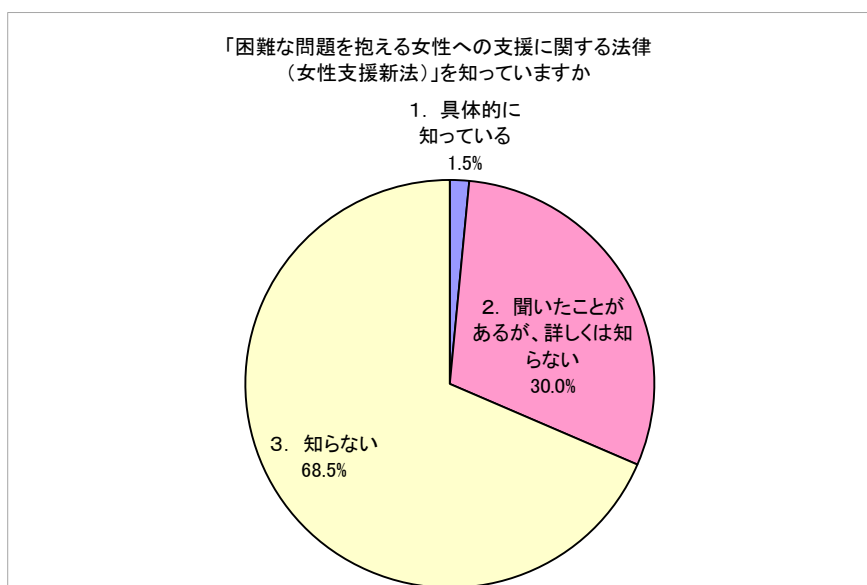
問 41 (ア)～(カ)のことを誰かに相談しましたか。(複数回投可)

○相談先については、「どこ(誰)にも相談しなかった」が39.4%と最も高く、次いで「友人、知人に相談した」21.3%、「家族に相談した」18.1%となっています。



問 42 あなたは、令和6年4月1日施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(女性支援新法)※」を知っていますか。

○「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(女性支援新法)」の認知度については、「知らない」が68.5%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、詳しくは知らない」30.0%、「具体的に知っている」1.5%となっています。

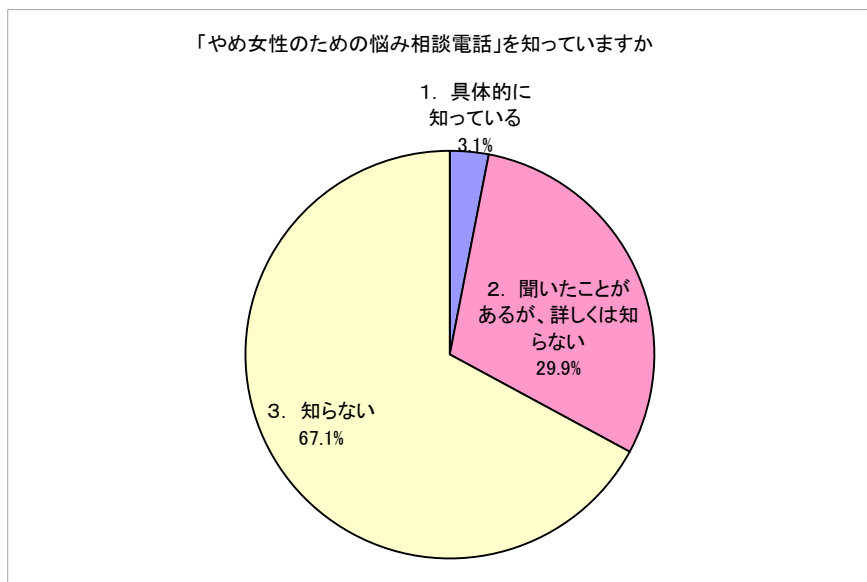


---

問 43 あなたは、「やめ女性のための悩み相談電話」を知っていますか。

---

- 「やめ女性のための悩み相談電話」の認知度については、「知らない」が67.1%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、詳しくは知らない」29.9%、「具体的に知っている」3.1%となっています。



問 35 八女市に対するご意見・ご感想・ご提案 抜粋（欄外記述含む）

<p>大学へ行くため、一度八女市を出ましたが、子育て支援など支援が充実しており、地域で貢献したいと思い八女市に戻ってきました。外国人の夫との生活の場を決める時に、八女市のイベント(祭りなど)や過ごしやすさから迷い無く「八女市に住みたい」と夫が言い八女に住み続けています。近々数年日本を離れますが、子供が出来て子育てと考えるとまた必ず日本に戻ってきたら八女市に住もうと決めています。</p>
<p>八女市の取り組みではなく市民の意識なんです。市議員に女性があまりにも少ない。行動力のある女性も沢山存在するはずですが、現在は2名。市議が無理なら八女市を考える・よくする女性の団体があっても良いかと思います。男性と女性の視点等にはやはり差があると思いますので。</p>
<p>子育てをするにあたって、保育料の市の負担も八女市は他の地域に比べて額も多いし、やめっこ未来応援金もあり子供を応援する体制ができていると思う。しかしまだ子育て世代は特に経済的にも厳しいと思うので今後もっと色々な支援を増やしてほしい。</p>
<p>素晴らしい所だと思い移住した、今もそれは変わらないがまだまだ保守的で多様性に対する理解に欠けると感じる。多様性に対する理解が深まる発信がもっとあれば。 とても良い所だけど活気にいまひとつ欠ける気がする。インバウンドの観光客等が来やすい、アピールをもっとしてよいのではと思う。(若い世代、外国人観光客が来たいと思うイベント作り。またその客層に適した広報活動等)人権や多様性に関する小中学生の作文、(若い世代の認識を知れたので)</p>
<p>人口減少社会に対応して、DXの推進を行なってください。また、将来を担う子どもたちの権利を尊重した政策を進めてください。</p>

問 36 15年後の理想の八女市 抜粋

<p>どんな人でも本当の自分の姿を自信を持って見せて過ごすことが出来る町に。まだまだ偏見が強いなど感じます。(障害の有無に対しての発言など地域で差がある。理解を広めて深めていきたい)子供たちが自然と集まれる場(公園、広場、室外、室内)が増えてほしい。不登校や引きこもりの親の会などは聞かすが、参加者は基本母親。父親特有の悩みや愚痴もあるはず。親の会とまとめると言いにくいのでは?父親の集まりみたいな場があってもいいのかな。不登校や引きこもり関係なく、どんな集まりも。子供と父親の遊びの教室とか。</p>
<p>少子高齢化は一層進むはずで。後継者不足で商業・農業は衰退するばかりなのでは。現在もそれなりに取り組んであるようですが、もっと本気度を上げて取り組んでもらえたらと思います。私は農家ではありませんが、近所の農業従事者は60才以上の方がほとんどです。市がリードして法人化するなどしていけば少しは改善するのでは?また、高齢者の有効活用してもらえば孤独に陥ることもなく、生きがいを持たせられるかも。シルバー人材センター的でもっと気安く参加できるようなシステムがあればと思います。</p>
<p>人と人の繋がりが大事で差別のない楽しく暮らせるような八女市であってほしい。</p>
<p>もっと子供が増えて八女の自然を大事に残しつつ、観光名所等も増え、掘り固まった考えではなくオープンな町になってほしい。また男女もっと平等であってほしい。</p>
<p>男尊女卑のない、優しい人々が安心して暮らせる町でありますように。</p>
<p>学校教育に関しては、子供も教師も保護者も地域の方もみんな楽しく過ごせる、笑顔で学校に行きたくなる姿を実現していけるとよいと思います。</p>
<p>八女市が「子どもたちが将来ここで働きたい」と思えるまちであってほしいです。そのためには、地元の産業や雇用がしっかり守られ、若い世代が自分の夢や目標を実現できる環境づくりが不可欠だと考えます。特に、八女市の強みである農業は、今後も大切に、時代に合った形で発展させていくべきです。地元産品のブランド化や6次産業化、農業体験や食育などを通じて、子どもたちが農業に誇りを持ち、次世代につなげていけるような取り組みを期待します。</p> <p>また、都会から移住したいと思われるような魅力あるまちづくりも重要です。自然環境の豊かさや歴史・文化を活かしつつ、医療・教育・子育て支援などの生活インフラを充実させ、移住者が安心して暮らせる体制を整えてほしいです。テレワークや起業支援、地域コミュニティの活性化など、多様なライフスタイルに対応できる柔軟なまちづくりを進めてください。</p> <p>一方で、財源には限りがあり、持続可能な行政運営が不可欠です。生活保護についても、国民の理解が得られる公平な運用を強く望みます。特に、外国人への生活保護支給が年々増加している現状を踏まえ、八女市としても法の趣旨に則った厳正な対応を求めます。</p>

## (2) 中学生アンケート

八女市内の中学生生徒会役員を対象に、男女共同参画に関する本市の中学生の意識や現状などを把握するため、今後の男女共同参画行政を充実させていくため「男女共同参画に関するアンケート調査」を実施しました。

### (調査の目的)

本調査は、男女共同参画に関する本市の中学生の意識や現状などを把握することにより、今後の男女共同参画行政を充実させていくための基礎資料とすることを目的としています。

### (調査の実施概要)

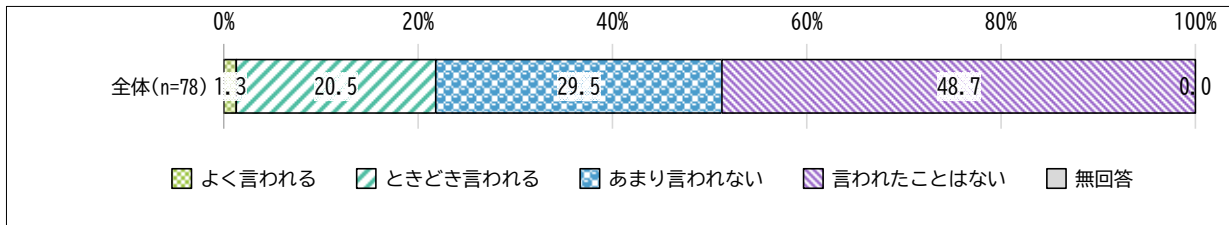
調査時期	令和7年6月3日～6月30日
調査対象者	八女市内の中学生生徒会役員
調査方法	入力フォームにて各学校にて各自回答（logo 入力フォーム）
配布数	81 件
有効回答数	78 件
有効回答率	回答率 96.3%

### (調査結果利用上の注意)

- ・各設問の n は、回答者数を表しています。
- ・回答率は百分比の小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。
- ・2 つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、選択肢ごとの割合を合計すると 100%を超える場合があります。
- ・回答があっても、小数点第 2 位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。
- ・数表・図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合があります。

問1 あなたは誰かから「女だから○○○しなさい」「男だから○○○しなさい」と言われたことはありますか。(単数回答)

○ジェンダー・バイアス※の経験の有無については、「言われたことはない」が48.7%と最も高く、次いで「あまり言われぬい」29.5%、「ときどき言われる」20.5%となっています。

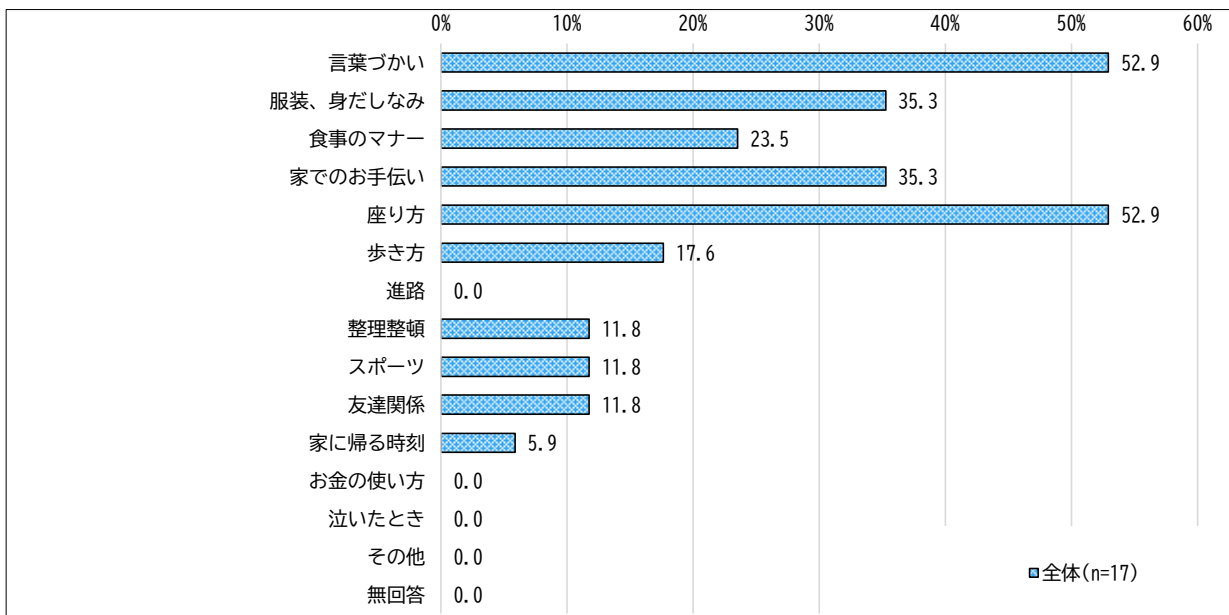


※ジェンダー・バイアス…社会や文化の中で、特定の性別に特定の役割や特徴を関連付ける考え方式です。例えは、「男性はリーダーに向いている」「女性は感情的だ」といった考え方式は、固定観念の一例です

問1で「1 よく言われる」「2 ときどき言われる」と答えた方に聞きます

問1-1 どんなことについて言われましたか。(複数回答)

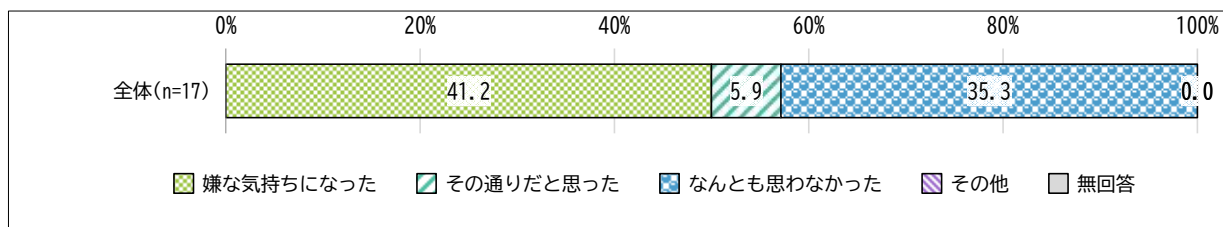
○ジェンダー・バイアス※の内容については、「言葉づかい」「座り方」が52.9%と最も高く、次いで「服装、身だしなみ」「家でのお手伝い」35.3%、「食事のマナー」23.5%となっています。



問1で「1 よく言われる」「2 ときどき言われる」と答えた方に聞きます。

問1-2 あなたはその時どんな気持ちでしたか。(単数回答)

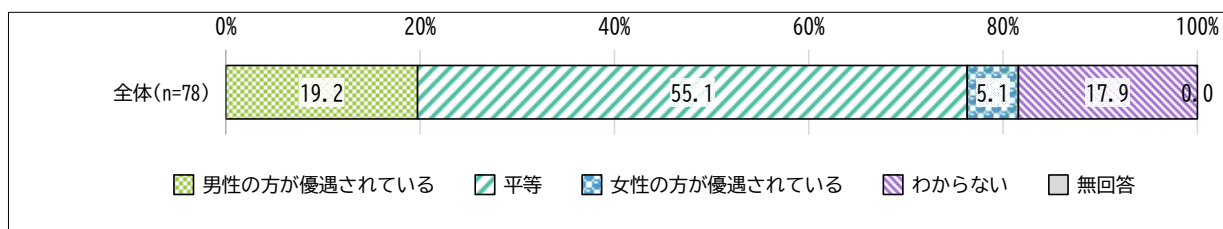
○ジェンダー・バイアス\*の心情については、「嫌な気持ちになった」が41.2%と最も高く、次いで「なんとも思わなかった」35.3%、「その通りだと思った」5.9%となっています。



問2 今の社会は男女平等になっていると思いますか。(単数回答)

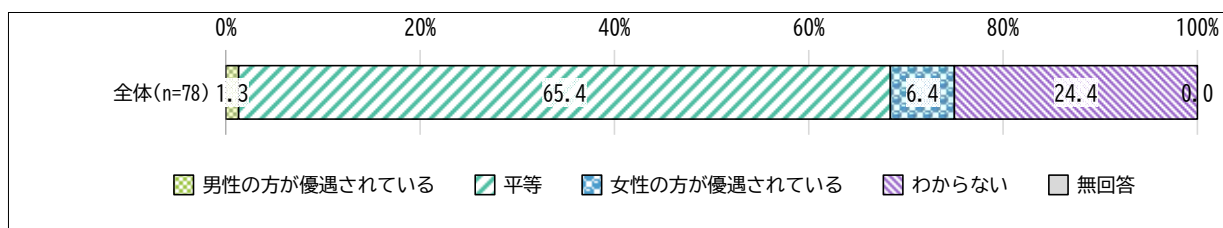
(1)家庭の中での男女平等

○家庭での男女平等については、「平等」が55.1%と最も高く、次いで「男性の方が優遇されている」19.2%、「わからない」17.9%となっています。



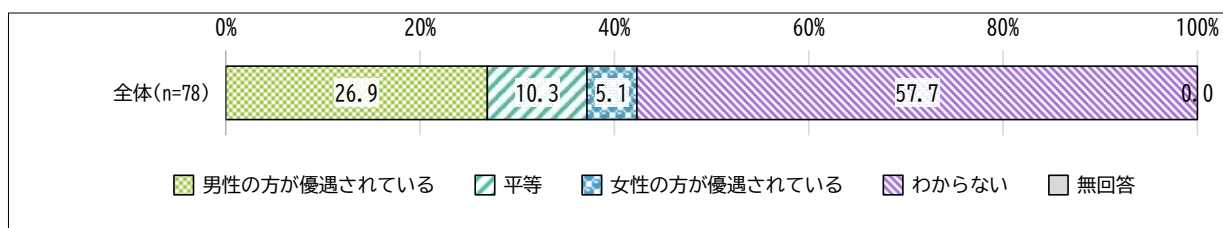
(2)学校の中での男女平等

○学校での男女平等について、「平等」が65.4%と最も高く、次いで「わからない」24.4%、「女性の方が優遇されている」6.4%となっています。



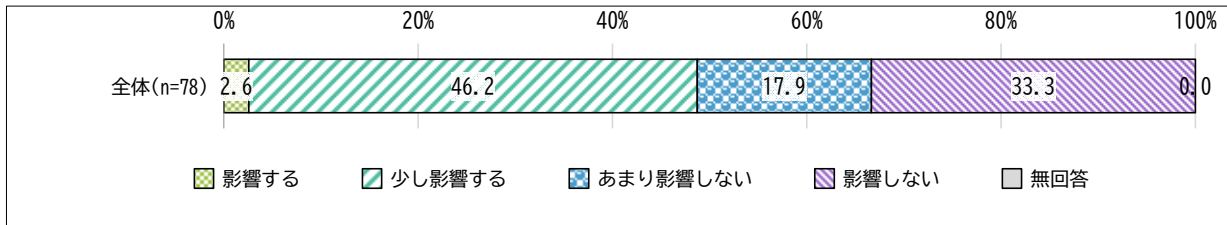
(3)社会全体の中での男女平等

○社会全体での男女平等については、「わからない」が57.7%と最も高く、次いで「男性の方が優遇されている」26.9%、「平等」10.3%となっています。



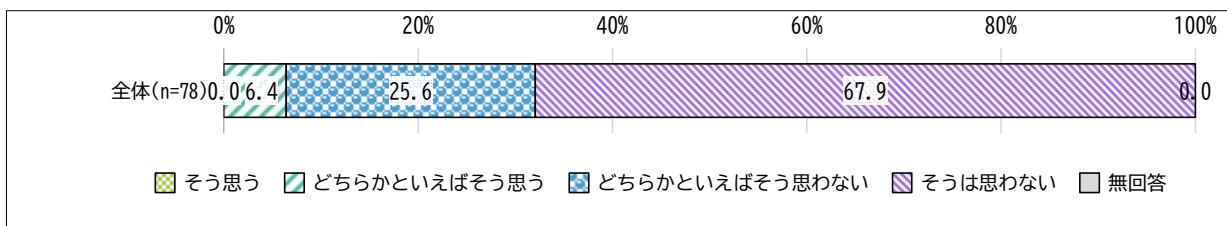
問3 将来なりたい仕事を実現する上で、「女であること」もしくは「男であること」が影響すると思いますか。(単数回答)

○性別による将来就きたい仕事への影響の有無については、「少し影響する」が46.2%と最も高く、次いで「影響しない」33.3%、「あまり影響しない」17.9%となっています。



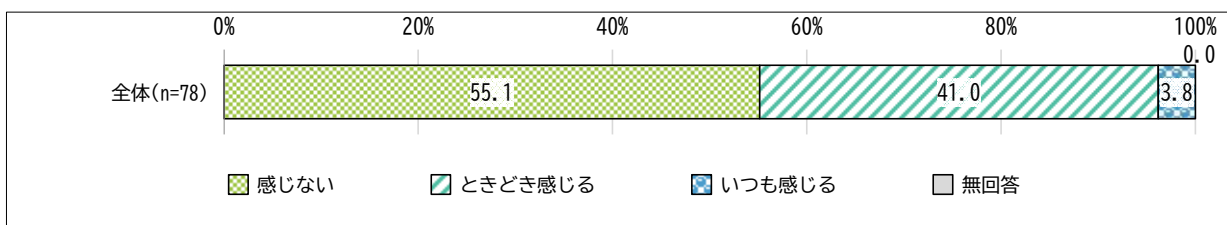
問4 性別で役割を決めるという考え方をどう思いますか。(単数回答)

○性別による役割分担の考え方については、「そうは思わない」が67.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」25.6%、「どちらかといえばそう思う」6.4%となっています。



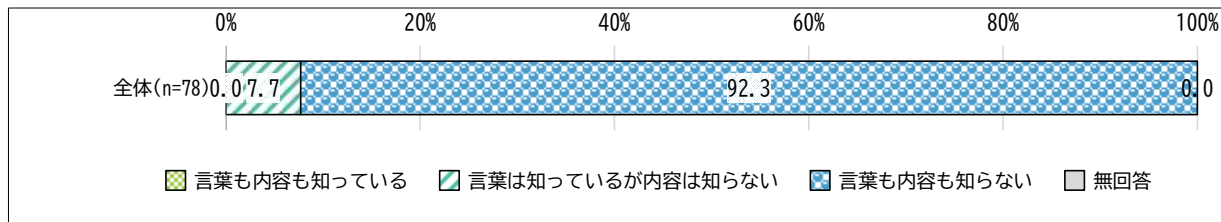
問5 学校生活の中で、女子と男子では係の仕事や役割に違いがあると感じることがありますか。(単数回答)

○学校生活での性別による係の仕事・役割の違いについては、「感じない」が55.1%と最も高く、次いで「ときどき感じる」41.0%、「いつも感じる」3.8%となっています。



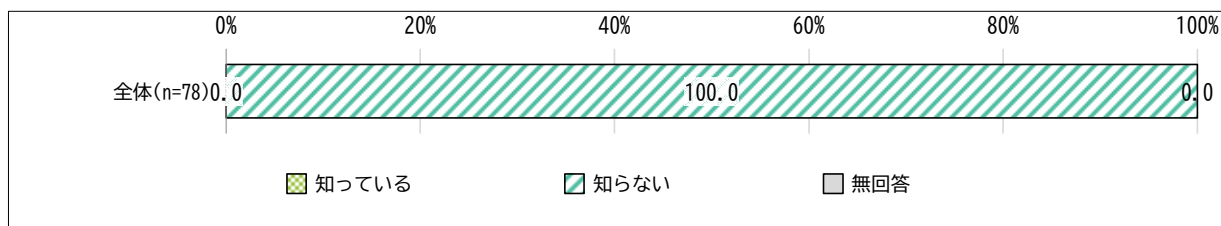
問6 「男女共同参画」という言葉を知っていますか。(単数回答)

○「男女共同参画」の言葉・内容の認知度については、「言葉も内容も知らない」が92.3%と最も高く、次いで「言葉は知っているが内容は知らない」7.7%となっています。



問7 八女市が「男女共同参画宣言都市」であることを知っていますか。(単数回答)

○八女市が「男女共同参画宣言都市」であることの認知度については、「知らない」が100.0%となっています。



- 性別に関係なく、一人ひとりの個性や能力が発揮できる社会を実現するためにはどうしたらいいか、あなたの意見を聞かせてください。

【性別に関すること】

男女関係なくみんなができることができるものにしたら良いと思う。
男子だから～、女子だから～にとらわれずに自分の思ったように行動したり、自分が思ったように発言したりすると性別に関係なく男女関係なく個性や能力が発揮できると思います。自分は、〇〇だから～にとらわれずに自分のやりたいことに何にでもチャレンジすると自分の個性、能力が出てくると思っています。そして周りの人々はその人が挑戦していることに対して応援してあげたり、励ましてあげたりすると良いと思います。
性別で色々なことを決めつけるのではなく、一人一人の意見や個性などを理解し日々の生活を送る。
男だからとか女だからという考えをなくし、一人ひとりの個性を全員が理解し合う事が大切だと思う。
性別の偏った考えを一人一人が無くすること。
まず男女関係なく、一人ひとりの個性や能力を発揮できる社会を実現するためには、まず、男女関係なく生活を創り上げるリーダーを団体の中から選ぶことが重要となると思います。なぜなら、そのような人が男女関係なくグループ全体に仕事などを平等に分け与えることが可能であると私は思うからです。
まず一人ひとりの個性や能力を認め、尊重することが大切だと思います。「男性だから～」や「女性だから～」等といった昔ながらの考え方を変える必要があると思います。そのために男女どちらとも参加できるイベントを行うと良いと思います。具体的には「どれだけ早く泣けるか大会」や「老若男女参加できるスポーツ大会」などを行うと良いと思います。「どれだけ早く泣けるか大会」では「男だから泣くな」という考え方を変えることができると思います。若い頃からこうした男女の性を超えるようなイベントを行い参加していくと「男性だから～」や「女性だから～」の考え方が変えていくことができると思います。
男女関係なく一人の人間としてそれぞれができることを尊重し伸ばしていくようにしていくことが大切だと思います。そのために日頃から学校や家庭内などで男だから～してはいけない、女だから～してはいけないと決めつけてその人の個性を潰すのではなくその人のできることを温かい目で見守ってあげるようにすることで性別に関係なく、一人ひとりの個性や能力が発揮できる社会につながると思います。
自分が持っている偏見に気づき、その偏見や考え方をなくして一人ひとりの個性を理解することが大切だと思います。例えば、男女の壁があると感じることもあるので男女関係なく話せるようになれる取り組みをしたいと思います。
一人一人が性別にとらわれない考え方を持つこと。
男女関係なく、一人ひとりがお互いのことを尊重することで一人ひとりの個性や、能力を発揮できる社会を実現することができると思います。そのために男女の偏見にとらわれないということが大事だと思います。
女だからとか男だからという言葉をなくす。
性別関係なく、能力などを見る。
小さな頃から男だから、女だからという言葉が発さない。 男子は絶対にズボン、女子は絶対にスカートを着るといった雰囲気を作らないようにする。 トイレマークの色を同じにしたほうが良い女はピンクで男は青というのをなくす。
・個人の考えや意見を押し付けないこと、否定しないこと。 ・過去で当たり前だったことを今、そして未来でも常識として決めつけないこと。 ・女子は赤色、男子は青色のような偏見、決めつけをやめる。
女だから何、男だから何とか固定概念を無くす。
男女平等にする。
性別でこの仕事とかをやめていくこと。

### 【個性や能力に関すること】

その人、一人一人が持っている個性、能力を活かした作業環境を作り上げることが必要だと思います。現代社会では、そのような環境が少ないことが、課題となっています。このような状況だとこれからの日本の就職率が下がってしまうと思います。このようなことを防ぐためにも、まず働く人の得意なことや能力を認識することが大切だと私は思います。最後に働く人が怪我や病気による長期休暇が、取りにくいということも課題であると思います。ある人が休みを取るのを多くの人が、嫌なふうに捉えることがとても多いと思います。そのようなことを防ぐために、多くの人がなぜ休むのかをただ知らせるのではなく、きちんとした理由を話すことがとても大切だと思います。
社会にいる全員で応援し自分の個性や能力が発揮できる場や、イベントを増やし自分の良いところを見つけられるような機会が多くなると良いと思います。
個性をしっかりとつ。
一人一人の個性を尊敬し合う。
誰もが互いの個性や意見を尊重し、実際に自分の考えを自由に発することが出来る社会になると性別に関係なく、一人ひとりの個性や能力が発揮できる社会の実現に一步近づくと思います。
一つのことにとらわれずに色々なことに挑戦していくと自分が得意なことや好きなことを見つける事ができるため、挑戦するという意識を高めていくと良いと思う。
一人ひとりの個性や能力を認め合う。
お互いの個性を否定せず尊重し、もっとそれぞれの個性を活かすことができる仕事を好きにすることができるようになったらいいと思います。

### 【意見・考えの表明に関すること】

一人ひとりがきちんと意見を言ったりできるようになると良いと思う。
一人ひとりの意見を否定せずに互いに尊重しあえたらいいと思います。
性別を気にせず、自分がしたいことができるように人の意見や考えを尊重し、個性を活かして夢に向けて頑張る人を応援できるような機会を増やすといいと思います。
まずは大人の人の考え方を变えるのではなく理解のある大人から子供へと伝えていくべきだと思います。そして力を発揮できる人材を作っていくことが大切だと思います。
自分で考えておかしいと思ったときには、おかしいと言える環境をつくる。
定期的に必要な意見を聞いた方が良いと思う。
一人ひとりの意見を聞く。
定期的に必要な意見を聞いた方が良いと思う。
一人一人の意見を尊重すること。
互いの意見を尊重しあう。
意見をはっきり伝える。
自分の意見や自身を持つ。

### 【相互理解に関すること】

みんな、色々な人を認め合っているんなことをしたら良いと思う。
できないところだけ見てないで、相手の良いところやできるところを見る。
認め合う。
すべて否定しないこと。
お互いのことをもっと知るべきだと思う。
一人ひとりが独断と偏見で物事を決めつけないことや、一度相手の立場に立って自分を反対側から見つめ直す機会が大切だと思います。
相手の立場に立ち、常識を疑うこと。

【男女共同参画の啓発に関すること】

「男女共同参画」などの授業を行う。
小中学校道徳の授業にこの事に関することを入れる。

【その他】

相手への関心をなくせばいいと思う。
何も思わない。
全員が平等
自由
誰もがやりたいことができ、それを受け入れる社会にしておくこと。
やりたいことをやる。